

月刊 いっぽ

vol. 27

2018年6月号

denken

—記者メモ—

「第9回教育ITソリューションEXPO」

5月16日（水）～18日（金）

今回は700社が出展。

今回も各種新製品の展示発表や、製品デモ、模擬授業が行われていました。

「みらいの学びゾーン」ではカードの指示に従いパーツを動かし完成させたり、目的を達成させるパズル玩具に興味をひかれました。

特集

今月号は「第9回教育ITソリューションEXPO」を特集します。

展示内容

今回も多くの出展会社が新商品、主軸商品を展示、デモンストレーションしておりました。

どのブースでも各社熱弁で商品説明をされており、来場者の方々も体験コーナー、セミナーに参加されて、今後の導入計画の参考にしようとしているのが見受けられました。

☆学校業務支援ゾーン☆

校務支援システムを始め、タブレット端末を利用した授業支援、勤怠管理システムなど教育現場の働き方改革を支援するような商品も見受けられました。

☆セキュリティゾーン☆

カード認証、生体認証、ファイルを保存するだけで自動的に暗号化してくれるソフト、インターネットへの入り口対策に加えて出口対策をする商品も多く展示されていました。

☆教材・教育コンテンツゾーン☆

電子教科書を利用した模擬授業に多くの教育関係者が参加されていました。家庭でもインターネットを学習に利用している子供たちも増えているようで、オンライン学習システム、授業内容を動画配信させるシステムなど、これからの学習スタイルが変わっていくんだろうと感じました。

☆eラーニングゾーン☆

こちらは、大学・高校・予備校・学習塾に向けた商品が多く展示、実演されていました。eラーニングを利用した学習のあり方で、学校が連携して自校の授業内容を互いに配信するしくみは、これからの時代にあったやり方なのかと感じさせられました。

☆ICT機器ゾーン☆

プロジェクター、スクリーン、書画カメラ、無線アクセスポイント、電子黒板等も新しい機能が増えより使いやすくなってきているようでした。

☆みらいの学びゾーン☆

各社ロボットを利用したプログラミング学習を主体で展示しておりました。実際に教材を利用した授業の行い方など体験出来るスペースもあり、ミニドローンに飛行パターンを登録し、飛行させているところもありました。

まとめ：今回も、アクティブ・ラーニング（主体的、対話的で深い学び）がテーマになっていました。

学習環境の変化、対応するのは子供達や先生方だけではなく、保護者の理解・協力が必要なのだと感じました。

6

月

日

（

）

直

山

崎

憲

一

